

○議長（茅沼隆文）

日程第6 議案第19号 平成31年度開成町一般会計予算から日程第12議案第25号 平成31年度開成町下水道事業会計予算までを開成町議会会議規則第36条の規定に基づき、一括議題といたします。

町長に平成31年度開成町当初予算提案趣旨説明を求めます。

町長。

○町長（府川裕一）

平成31年度開成町当初予算提案趣旨説明ということで、平成31年度開成町当初予算の提案にあたり、町を取り巻く状況の認識と、町政運営に対する所信及び政策の概要を説明をいたします。

我が国の経済情勢においては、各種政策の効果もあって・雇用・所得環境の改善が続き、経済の好循環が進展する中で、景気は緩やかな回復が続くと見込まれています。

政府は、東日本大震災からの復興・創生及び熊本地震からの復旧・復興に向けて取り組むとともに、デフレからの脱却を確実なものとして、経済再生と財政健全化の方法を同時に実現していくこととしています。

「経済財政運営と改革の基本方針2018」に基づき、幼児教育の無償化をはじめとする「人づくり改革」の推進や第4次産業革命の技術革新等を通じた「生産性革命」を着実に実行するとしています。また、10月に予定されている消費税率の引き上げを控え、経済財政運営に万全を期すとしています。

当町では、これまでの各種施策の成果により人口は増加を続けていますが、高齢化については多くの自治体と同様に進行しております。将来にわたり活力ある地域を維持していくためには、子育て環境の充実を図り、特に子育て世代に街の魅力を発信していくことが必要です。

平成31年度は「開成町第五次総合計画後期基本計画（以下「後期基本計画」という。）」のスタートの年になります。計画期間である6年間を見据えて中長期的な視点に立ち、将来の財政負担を考慮し、計画的な行財政運営を行うことを基本に財源を確保いたしました。

町民生活に係る諸課題に的確に対応するとともに、これまでの取組をさらに発展・進化させながら、将来都市像である「明るい未来に向けて人と自然が輝くまち・開成」の実現に向けて、開成町をさらに高いステージに押し上げる「新時代の幕開け 未来に羽ばたく予算」としました。

一般会計予算の総額は、76億3千500万円で、前年度に比べ26.0%、15億7千700万円の増となりました。

歳入では町税が1億4千644万6千円増の29億7千667万1千円で、対前年度比5.2%増となり、歳入総額の39.0%を占めております。

内訳としましては、町民税（個人）では、人口増に伴い3千25万7千円増10億7千272万1千円です。

町民税（法人）では、企業の好調な業績などを反映し、1億315万円増の3億3

千 7 9 8 万円を見込んでいます。

固定資産税は、みなみ地区をはじめとした市街化区域の宅地化の促進などにより、土地分は軽減措置の適用で減収となりますが、家屋分は新築増から増収となり、総じて 1 千 2 5 3 万 8 千円増の 1 4 億 1 千 9 8 6 万 5 千円です。

地方交付税は、平成 3 0 年度に引き続き普通交付税交付団体となる見込みですが、町民税（法人）の急増に伴う精算額が縮小され、基準財政収入額が減となることから、1 億円増の 1 億 8 千万円とし、特別交付税を加えた地方交付税全体では、2 億円の交付を見込んでいます。

分担金及び負担金は、1 0 月から予定されている幼児教育無償化に伴い、保護者負担金が減となることなどから、3 千 1 7 8 万 5 千円減の 1 億 8 6 2 万 6 千円を見込んでいます。

国庫支出金は、1 億 6 5 万 4 千円増の 6 億 9 千 7 5 3 万 1 千円としました。このうち民生費国庫負担金は、5 億 5 千 3 1 3 万円、地方創生の取組に対する地方創生推進交付金は 8 千 4 9 7 万 7 千円を見込んでいます。

繰入金は、年度間の財政調整のための財政調整基金のとりくずし及び新庁舎建設工事に伴う公共施設整備基金のとりくずしにより、全体では 3 億 9 8 5 万円増の 6 億 6 千 1 5 万 3 千円としています。

諸収入は、新庁舎建設工事の Z E B（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）化に対する二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の活用見込み、全体では 1 億 7 千 5 7 6 万 7 千円増の 2 億 5 千 1 6 2 万 7 千円を見込んでいます。

町債は、6 億 3 2 0 万円増の 1 4 億 4 千 2 3 0 万円としています。内訳としましては、地方交付税の代替措置である臨時財政対策債は前年度より 8 千万円増の 1 億 9 千万円、庁舎整備事業債（新庁舎建設工事）を 9 億 1 千 3 3 0 万円、庁舎整備事業債周辺環境整備を 5 千万円、防災行政無線整備事業債を 2 億 8 千 9 0 0 万円としています。

歳出では、引き続き中長期的な視点に立ち、選択と集中による事業推進の取り組みを進めます。

目的別では、議会費は、新庁舎移転に伴う議場備品の購入などから 8 千 1 7 0 万円増の 1 億 7 千 3 0 8 万 6 千円である。総務費は、新庁舎建設工事などから 8 億 4 千 4 6 5 万 7 円増の 2 5 億 5 千 6 2 7 万 7 千円としました。

民生費は、自立支援給付費の増などから 8 千 3 7 3 万 5 千円増の 1 9 億 2 千 3 7 0 万円となります。商工費は北部地域の拠点となるあしがり郷瀬戸屋敷の拠点機能強化のための施設整備及び駐車場再整備などにより 8 千 6 7 5 万 1 千円増の 2 億 1 千 9 5 8 万 3 千円です。

消防費は、防災行政無線デジタル化工事などにより、3 億 7 千 4 1 1 万 2 千円増の 7 億 4 5 万 3 千円です。

性質別では人件費は 8 4 8 万 1 千円増の、9 億 8 千 8 3 4 万 7 千円です。これは、地方統一選挙や参議院選挙に伴う職員手当の増などによるものです。

物件費は、1 億 8 千 1 8 1 万 4 千円増の 1 1 億 1 千 7 3 0 万 5 千円です。

これは新庁舎移転に伴う備品の購入などによるものであります。

扶助費は、自立支援給付費や、保育所入所児童委託料が増となったことにより、3千22万3千円増の12億2955万2千円です。

補助費等は、下水道事業特別会計の公営企業会計移行に伴い、一般会計からの繰出科目の変更などにより、2億4千482万4千円増の10億3千138万4千円です。

普通建設事業債事業費については、新庁舎建設工事などに伴い、12億3千87万3千円増の23億7千593万9千円です。

投資及び出資金は、前述の一般会計からの繰出科目の変更により7千929万3千円の皆増です。

特別会計では、国民健康保険特別会計が4千654万2千円減の16億2千693万6千円です。これは被保険者数の減や、県への納付金の減などによるものです。

下水道事業特別会計は、公営企業会計に移行するための皆減であります。

介護保険事業特別会計は、要支援・要介護者の増などから、2千554万1千円増の10億9千510万5千円です。

後期高齢者医療特別会計及び給食事業特別会計は、ほぼ横ばいとなっており、四つの特別会計の総予算額は30億2千396万5千円です。

それでは、平成31年度予定事業の概要について、第五次開成町総合計画の8つの基本政策に沿って申し上げます。

【1 町民主体の自治と協働を進めるまち】

防犯、防災、福祉、教育などの各分野で多様化する町民ニーズに対応し、町民同士の共助を大切にした町民主体の自治を進めるために、町民、企業、団体などの多様な担い手との協働によるまちづくりの更なる推進が必要となります。

協働のまちづくりを進めていくため、共同推進計画に基づき、これらの6年間でさらなる協働の推進を図ります。特に新たに協働に取り組みたい方の発掘を目的として、町民公益活動に取り組んでいる団体の紹介や町民活動に参加する方法など、協働を進める際の参考となる手引きを作成をいたします。

また、ボランティア、NPO法人など、町民の皆さんの公益的・自立的な活動を支援することを目的とした町民活動サポートセンターを町民センター内に設置するため、引き続きワークショップを開催して開設に向けて準備をしていきます。

各種事業においては、常に協働を意識するとともに、予算編成においては引き続き「協働推進特別枠」を設け共同事業に取り組んでいきます。

【2 未来を担う子どもたちを育むまち】

次代の社会を担う子どもを安心して生み育てられるように、町ぐるみで地域活力を生かした子育て支援を積極的に推進をします。

母子健康包括支援センター「ひだまり」を中心に、妊産婦やその御家族の様々な相談に応じるとともに、妊娠期からの乳幼児期までの一貫した母子保健サービスを提供し、子どもの健やかな成長を支援をします。

近年では約10人に1人が経験すると産後うつが大きな問題となり始めておりま

す。産後うつ予防と虐待予防のため、産後に健診を受ける際の費用を助成をし、必要な方に産後ケアを行うことで、産後の初期段階における母子のリスクの早期把握と支援につなげるための体制を整備をします。

開成幼稚園では、これまで大規模改修などの3年間教育の導入準備を進めてきましたが、4月にいよいよスタートします。園児数が多いことを特色として、年少、年中、年長の学年間交流をはじめ、町内の小学生、中学生、高校生との体験学習やあじさいまつりなど、様々な行事にも参加するなど異年齢や地域との交流を積極的に進め、豊かな人間性と心を育む教育を進めます。たくさんの仲間と共によく遊び、よく学び、笑顔あふれる「すてきさん」を町全体で育てていきます。

開成町駅前子育て支援センターでは、保護者等の育児の不安感や孤立感の軽減を図り、安心して子育てができるよう専門職による相談事業や仲間づくりのほか、父親も参加しやすい場を提供します。児童の健全育成を図るとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援する放課後児童クラブの利用ニーズの増加に対応し、また、放課後児童支援員の処遇改善や環境改善等実施をします。

【3 健康を育み町民がいきいきと暮らせるまち】

日本一健康な町を目指して、全ての町民の健康意識の向上と健康的な生活習慣の実践により、健康寿命の延伸を図ります。

第2期健康増進計画・食育推進計画を推進するため、「筋力をつけよう」をスローガンに、3年間の健康づくりプロジェクトをスタートするとともに、運動の習慣づけや健康の自己管理意識の向上のために「未病見える化コーナー」を活用して年齢層・健康状態に合わせた運動指導を展開をします。食育では、運動と食育に関する講演会の開催など「朝食を食べよう」をテーマに食育推進に取り組みをします。

疾病の2次予防にあたる早期発見、早期治療、重症化の予防を推進するため、新たに内視鏡検診（個別）を実施します。

少子化や核家族化高齢化などにより一人暮らしの高齢者が増加傾向にあります。従来の緊急通報装置設置事業を見直し、警備会社が緊急時に速やかな対応ができるようにする等、高齢者の見守りを充実させます。また、聴覚障がい者が役場に来場した際に申請や届け出などのコミュニケーション支援を行うため、手話通訳者を新たに配置をします。

スポーツ振興を図るため、開成町総合型スポーツクラブをはじめ、スポーツを通じた地域コミュニティの醸成を図りながら、誰もがスポーツに親しむことができる環境整備を進めます。スポ・レクフェスティバルは、サイクルスポーツイベント「あしがらロングライド」と同時に開催をし、町民はじめ多くの方にスポーツに親しむ場を提供いたします。

高齢者福祉の推進では、高齢者の生活支援体制整備の充実を図るため、社会福祉協議会に委託事業として配置している生活支援コーディネーターを2名に増員をいたします。

【4 安全で安心して暮らせるまち】

切迫性が指摘されている地震や近年多発する風水害などの災害に対し、防災体制の強化が必要です。町民、自治会や民間企業などと自助・共助による防災体制の強化を進めます。

また、減災対策として震災時の通電火災に有効とされる「感震ブレーカー」は自らの財産を火災から守る備えとなるとともに、近隣への延焼の危険性を減らすことができます。地域全体の被害軽減のため、引き続き普及を図ります。

消防団の活動では、装備を充実させるとともに、引き続き小型動力ポンプ付積載車を1台更新をします。また、全国的に欠員が生じている消防団員を獲得するため、設置をした開成町消防組織強化推進連絡協議会の取り組みについて、自治会や企業との協力を得ながら、支援を継続をしていきます。

防災行政無線は電波法例の改正により、現行のアナログ方式での運用ができなくなることから、機器をデジタル方式に切り替えると共に屋外子局の更新、増設工事を行います。

防災に関する知識や技術を習得する防災講座の会社に加え、災害時に指揮をとれる防災リーダーを育成することを目的とした地域防災リーダー養成講座を引き続き開催をし、自主防災会の強化を図ります。

防犯対策では、高齢者を狙った振り込め詐欺に対する啓発活動を実施するとともに、町民有志で構成されている安全サポーターなどの地域組織と連携しながら防犯体制を強化をします。

交通安全対策としては、交通指導隊、警察と連携した街頭での交通安全指導の実施、加害者にもなり得る自転車事故への備えとして自転車保険の加入促進を進めます。また、子どもたちの交通安全意識の向上を図るため、引き続き小学4年生を対象にした自転車運転免許証の交付事業自転車の安全な乗り方教室を実施をします。

【5 自然が豊かで環境に配慮するまち】

地球温暖化対策やエネルギー対策として原子力や化石燃料に頼らない新エネルギーへの転換が求められており、環境に配慮した取り組みをさらに進めます。

低炭素社会の実現及び地球温暖化対策に寄与するため、ゼロエネルギーハウス（ZEB）の新築・改築に対する支援にこれまで以上に注力を行います。具体的には、ZEHよりもさらにハードルの高い「ZEH+（ゼッチプラス）」や、「LCCM（Life Cycle Carbon Minus）住宅」に対する上乗せ支援を実施をします。また、既存住宅の省エネルギー化を図るための補助制度を設けます。

日本一きれいな町を目指し、清潔で美しいまちづくりのため、町民、企業、団体などと連携をし、地域の環境美化運動として引き続き「かいせいクリーンデー」を実施をし、環境美化の啓発に努めます。

ごみの収集については、従来は祝日の収集がなかったため、収集日が変動してしまいました。4月からは、祝日にかかわらず曜日固定（年末年始を除く）で収集をいたします。

ごみの減量や資源化、ダイオキシン類の発生を抑制するため、南足柄市に事務局を

設置し、足柄上地区 1 市 5 町によるごみの広域化に向けた検討を再開をいたします。

【 6 都市の機能と景観が調和するまち】

良好な市街地の形成及びインフラの整備による都市機能の強化を図るため、駅前通り線周辺地区都市機能を強化を図るため、駅前通り線周辺地区土地区画整理事業の推進に向けた準備として、地区界測量、事業認可図書の作成などを実施をします。

念願であった開成駅の急行停車に伴い、開成駅の利用変化が見込まれます。公共交通導入の調整や今後の駅前通り線周辺地区土地区画整理事業に伴う駅前環境の変化を見据え、開成駅西口駅前広場の再整備に向けた調査を実施をします。

このほか、道路については路面性状調査の結果や自治会要望に基づき、順次道路補修を進めます。水路については大雨等による増水に対応するため、下延沢の水路整備に向けた測量を実施をします。

上水道については、水道施設の長寿命化を図るため、高台第一浄水場第 1 配水池の耐震補強工事や、第 2 配水池の屋根の改修工事を実施をします。また、中央監視装置の更新を 2 か年かけて実施をします。

下水道では、地方公営企業法を適用する公営企業会計での運営がスタートをします。施設整備については、汚水処理の整備計画であるアクションプランに基づき、未整備区域の整備を進めます。

北部地域のあじさい農道については、きれいなアジサイの花が咲き、あじさいまつりが盛り上がるよう、適切な時期に植え替えや施肥を行い、良好な景観の維持管理に努めます。

【 7 個性豊かな産業と文化を育成するまち】

個性豊かな産業と文化を育成する、農業や商工業の活性化を図ります。前年に実施した農家の経営意向アンケート結果を活用し、農家の担い手同士が情報交換をするための仕組みづくりや、農地の利用計画の作成と農地集積の効率化を推進することによって、業者の経営をバックアップをいたします。

また、安心して農地を貸し借りができる仕組みとして、農地中間管理事業のさらなる普及に取り組み、優良農地の最適な活用を促しをします。

北部地域の交流環境観光の拠点であるあしがり郷瀬戸屋敷では、敷地内に交流拠点施設として、観光案内や食品などの加工販売などを整備をします。また、駐車場も拡大し、観光客の利便性を高めます。

商工業の活性化については、引き続き小口資金融資や創業者利子補給などの中小企業支援を推進するとともに、あじさいまつりや阿波おどりなどの開催により住民相互の連携はもとより、都市住民との交流により町内経済の活性化を図ります。

あじさいまつりでは、町オリジナルのあじさい「開成ブルー」の増株に取り組み、あじさいの美しさを多くの方に感じてもらえるよう事業を進めます。阿波おどりでは、PR 活動を充実し、イベントを更に盛りあげます。

【 8 効率的な自治体経営を進めるまち】

魅力ある地域づくり・協働のまちづくりを進めるために、引き続き職員向けの各種

研修を実施をし、政策形成や様々な行政課題対応できる活力ある職員を育成をします。職員の接客対応は町民満足度を高める上で重要であることから、全職員に意識改革を促すための接遇研修を重点的に実施をし、特に「話す」という機能の強化を図ります。町民と行政とのコミュニケーションの基礎となる情報の共有を積極的に進めるため、見やすく、分かりやすいサイトの実現を目指し、町公式ホームページのリニューアルを行います。

マイナンバーカード（個人番号カード）を利用して、全国のコンビニ等で住民票の写しなどの証明書が取得できるコンビニ交付サービスを１０月から開始をします。

新庁舎の建設は平成３０年９月から本体工事に着手し、順調に進んでおり、平成３１年度中の完成を目指しています。また、新庁舎の供用開始に向け、住民サービスのあり方や働き方等含めたオフィスの環境整備を進め、更なる住民サービスの向上を目指し、万全な体制に向け準備を進めます。

結びに、新年度は新元号が施行され新しい時代の幕開けとなります。近年はＩＣＴなどの技術革新が目まぐるしく進む中で、人々の働き方、暮らし方も大きく変わりつつあります。この変化に伴い、求められるサービス、果たすべきサービスは何なのか常に考え、先を見据え柔軟に対応してまいります。

前述のとおり町政運営の根幹となる後期基本計画がスタートします。人生１００年時代を迎えつつある中で、計画に位置付けた事業授業を確実に実施し、あらゆる世代が長く幸せに健康に暮らせる町を目指します。「始めに二度なし」ということわざがあるように、最高のスタートを切れるよう、この１年に全力を注いでまいります。

これからも、町民の皆さんと一緒に考え、取り組み、明るい未来を創り上げれる邁進してまいります。

新年度の施策を進めるにあたり、議会の皆様には、一層のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

以上で、平成３１年度開成町当初予算案並びに町政運営に対する所信の説明をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（茅沼隆文）

町長による説明が終了いたしました。